

あつぎ郷土博物館NEWS3月号

企画展 人はどこからきて、どこへいくのか

再生・永遠回帰の生命

会期：3月8日～3月21日（予定） 午前9時～午後5時

郷土博物館では、企画展「再生・永遠回帰の生命」を3月8日（月）から開催するべく準備をしています。（新型コロナウイルス感染拡大の状況によって変更になる場合があります。）博物館閉館のため、会期が変更されており、楽しみにお待ちしております。方には、御迷惑をおかけいたします。

今回の展示会は、厚木の人生儀礼に係わるさまざまな資料から、他界観、つまり、

あの世、異界の姿を考えることが一つの目的です。では、厚木の人、あの世をどこにあったと想像していたのでしょうか？

仏教の説く地獄、極楽は、遠くはるかな世界を想像させますが、多くの地方には死後、靈魂の行くところとされている霊山、霊地があります。

厚木をはじめ大山の周辺では「100日参り」といい、大山にある茶湯寺（誓正山涅槃寺）へ死後供養に行きます。この時、「一摘みのお茶をいただいてきて初めて新仏にお茶をあげる。それまでは水だけ」「寝釈迦様のお礼をいただいてくる」のです。特に、「亡くなった人によく似た人に逢える」、「亡くなった人に逢える」と伝えられています。普段は意識せずとも、このような習俗、言い伝えからは、大山が亡くなった人が行くところとして考えられていたことがうかがえます。はるか遠い世界と考えられているあの世ですが、一方でごく身近、目で見、手でふれ得るところに引き寄せているとも考えられています。厚木の人、あわせです。亡くなった後も、ふるさと近くにとどまることができるのですから。

会期等につきましては、随時、ホームページ、フェイスブックにてお知らせいたしますので御確認ください。大変御不便をおかけいたしますが、御理解と御協力をお願いいたします。皆様の御来館をお待ちしております。



▲相模大山道 田村渡之景（歌川国芳）

行事カレンダー 3月

*3月7日(予定)まで休館

日	曜日	行 事 内 容	講 師	時 間
13	土	雑木林・草地、早春に生きる生き物探し体験 講座予約システム№.2044013 定員 15 名 申込 3 月 1 日まで抽選	佐藤 誠三 (元宮ヶ瀬ビクターセンター長)	14:00～ 16:00
14	日	公演・講演会「幽頭分界を舞い、語る」 定員 50 名 先着	垣澤 瑞貴 (相模里神楽垣澤社中)	14:00～ 15:30
20	土	講演会「霊柩車をつくる、あの世へおくる」 講座予約システム№.2058005 定員 50 名 申込 3 月 10 日まで抽選	今村 勉 (霊柩車製造会社 J・F・C社長)	14:00～ 15:30
21	日	ギャラリートーク 展示解説「再生・永遠回帰の生命」	当館学芸員	14:00～ 14:30
29	月	休 館 日	*開館・行事は変更・中止になる場合があります。 *詳細はホームページを御覧ください。	



ゆうげんぶんかい

幽頭分界(国土奉還)とは ～3月14日の講演会について～

里神楽で奉納される「幽頭分界」。神道ではこの世界は、私たちが生きているこの世界と、目には見えない神の世界との二つより成り立っていると考えていました。目に見える現実世界、人間の世界のことを「うつしよ」といい、これに対し、人間の目に見えない幽冥の世界、神の世界は「かくりよ」とよびます。日本書紀の国譲りの話の一つに、この頭世幽世の話が出てきます。大国主大神はこの日本の国造りをされましたが、高天原から降りてこられた皇孫にお譲りすることになりました。

里神楽の「幽頭分界」はこの事績が演じられたものです。垣澤社中 垣澤瑞貴さんの所作を交えたお話しをお楽しみ下さい。

●あつぎ郷土博物館 開館時間 午前9時から午後5時まで (入館は午後4時30分まで)

休 館 日 毎月最終月曜日 年末年始

●古民家岸邸

開館時間 午前10時から午後3時まで(入館は午後2時30分まで)

休 館 日 月曜日と火曜日(祝日の場合は翌平日) 年末年始

※御来館の際は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事前の検温、マスクの着用をお願いいたします。また、館内は人数制限を実施する場合があります。



(申込み・問合せ) あつぎ郷土博物館

〒243-0206 厚木市下川入 1 3 6 6 - 4 電話 046-225-2515

Mail 8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp

FAX 046-246-3005